

## 国会通信

茨城選出の議員

TPPの承認案  
食の安全脅かす

国民・藤田氏

国民民主党の藤田幸久氏(参院茨城)は1日、参院本会議で会派を代表して登壇し、米国を除く11カ国が



参院本会議で質問する国民民主党の藤田幸久氏。国会

署名した環太平洋連携協定(TPP)の承認案について、農林水産業や畜産業など国内の食の安全が脅かされているとして、「国民生活に大きな打撃を与える大問題だ」と批判した。

藤田氏は、農産物の輸入額や国内の生産減少見込み額などの政府試算が不十分で、国内生産者の損失が過小評価されていると指摘。

「国家安全保障の要として農林水産業を支え、食料自給率を維持するのは独立国家の最低条件だ」と強調した。

河野太郎外相は「農家の不安や懸念に向き合い、十分な対策を講じていく」、斎藤健農相は「農林水産業を産業として強くする施策を進め、食料自給率の向上と食料安全保障の確立を図る」とそれぞれ答えた。